



## 羽越線特急脱線事故から13年 現地に立ち、鉄道の安全を守り抜くことを誓う！



羽越線特急脱線転覆事故から13年が経過した12月25日、八王子地本の若きリーダーたちで羽越線事故慰霊式に参列しました。事故発生時刻に現地へ立ち、このような場所で突如として命を奪われた無念と大切な家族を奪われたご遺族の無念に立ち、鉄道労働者として安全第一で判断・行動することを誓いました。

**命より尊いものは無い！  
私たちの手で仲間と乗客の  
命を守れる鉄道を創造しよう！！**

### 悲しみ繰り返さぬ

いなほ脱線事故13年 庄内町で慰霊式

乗客5人が死に、乗客乗員33人が重軽傷を負った2005年のJR羽越本線特急いなほ脱線転覆事故から13年となった25日、慰霊式が事故現場の庄内町榎木の慰霊棟で行われた。参列者



事故発生時刻の午後7時14分に合わせ、献花するJR東日本の関係者ら＝庄内町榎木・慰霊棟

いなほ脱線転覆事故を受けて、JR東日本は庄内市黒森に設置したドクターカーを使い、風速33以上の突風が列車の運行範囲に到達すると予測された場合、列車を停止させる新システムの運用を昨年12月19日から始めている。新システムによる運行規制は昨年度は今年3月31日まで16日間53回、本年度は11月1日から12月25日午後6時半まで15日間6回に上っている。

12月26日付  
山形新聞